

平成28年度

公益財団法人世界遺産相倉合掌造り集落保存財団事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

世界遺産の永続的保存継承を、大きな柱として設立された本財団は、集落への訪問者から集落保存協力金をいただき、集落保存に対しての理解を求めるとともに、住民の生活の場が世界遺産であることから、集落の保存継承と住民の生活環境の向上を最重点課題として取り組んできた。

ここに、その諸事業の概要を報告する。

(1) 公益目的事業(世界遺産地域の保存に関する事業)

- 1・ 集落保存の原点である茅(コガヤ)の確保の為、相倉保存顕彰会及び住民の茅場を借り受け、茅の中の下草・茅場周囲の草刈りを年3～4回行い、肥料不足の茅に肥料散布・育ちのいい茅株を切り分け、茅株のないところに植栽し良質な茅の確保に努めています。

駐車場上部の新造成茅場が2年目に入り、少し茅場らしくなりました。29年度は茅刈りが出来るのではと考えています。

尚集落待望の新茅保管庫が完成し秋には収穫した茅が収納できます。

- 2・ 集落景観保全を行うにあたり、遊休農耕地の田畑を借り受け各種野菜の栽培(じゃがいも・茄子・サツマイモ・黄金かぼちゃなど)を行い、民俗館・財団事務所横で、世界遺産相倉集落で栽培した野菜として販売、観光客に好評を頂いている。

尚 コスモスやソバを植え、集落内の景観保全に力を注ぎ、観光客に楽しんで頂いています。

- 3・ 9軒の空き家の管理には先住民が使用していた生活用具及び農具を展示した相倉民俗館、五箇山の伝統産業である、和紙・養蚕・塩硝に関する資料など展示した相倉伝統産業館として2軒開放、なお旧図書家は貸店舗、旧東山家は民間会社の研修施設として活用、交流館の山崎家は五箇山の伝統産業、紙すきの体験コーナーとして4月～11月の土日、五箇山和紙組合に活用頂いている。

尚今まで茅保管庫としても、利用していた窪田家は金沢大学「五箇山セミナーハウス」として28年度から活用頂いております。

- 4・ 民俗館・伝統産業館の入館状況は対前年度88%と、新幹線開業年度の昨年が伸びただけで厳しい現状です。

今後入館料の値上げを検討したいと思えます。

(2)収益事業(集落保存協力金の徴収と寄付金の募集に関する事業)

- 1・ 民俗館等の入館料同様昨年の伸びから減少が続き、対前年度90%となりました。(白川郷は、普通車 1,000円とされたそうです)
高値の白川郷を嫌って、増加してくれないかと願っているところです。
もともと消費税増加時には値上げを検討していたので、入館料同様検討したい。
* 前年度からは、全ライトアップ(金・土・日)に民謡ライブを行い増収を図っている。
- 2・ 集落保存協力金により、世界遺産の永続的保存継承を行っていることからより多くの観光客誘致に 財団ホームページ・観光情報誌掲載・新聞紙上等への(例年間ライトアップ・雪下し作業など)掲載依頼をお願いし誘客していきたい。
- 3・ 平中学校グラウンド周辺からシャトルバスの運行を始め大型連休・お盆・シルバーウィークと国道の混雑を解消しスムーズなお客様誘導が出来ました。

(3) その他

- 1・ 集落内をパトロールし、財団の役割の範囲内で集落の維持保存に努めた。
放水銃の見回りや道路清掃、市有家屋等10棟の家周り・自然公園・キャンプ場・道路・遊歩道・並びに借り受け田畑と・広範囲に渡り年4回の草刈りを行っています。
冬は駐車場除雪・集落全景撮影スポットへの道付け・市有家屋の屋根雪下ろし・1人暮らし高齢者世帯からの除雪・道付け依頼の受託業務など世界遺産相倉合掌造り集落の永続的保存に取り組んでいます。
- 2・ 28年度は、第二茅保管庫・バス停・ふるさとセンター改修工事・料金所トイレ・第二駐車場拡張・民謡ライブ用舞台機材購入等と南砺市等からの補助金を頂き多くの事業を行い、集落等の環境整備を行いました。

総額 72,269,852円 (特定資産 24,551,132円)